

資金管理・流動性管理

KYRIBA FACT SHEET



資金の最適化

ロケーション、通貨、流動性ポジションなど、企業の資金ポジションに関する根本的な疑問に答えるのは、途方もなく大きな課題に思えます。大勢の社員が、別々のツールやデータソースを使って何時間も作業する必要がある場合もあります。資金の明確化・可視化は、財務部門が重要な財務判断と戦略的なビジネス目標を支援する上で欠かせない基本的な要件です。

キリバの資金・流動性管理は、その可視化を実現します。キリバは、市場をリードするグローバルな資金管理ソリューションとして知られ、直観的で使いやすいソリューションを通じ包括的な機能を提供しています。キリバは、あらゆる地域で全ての銀行を対象に、迅速かつ正確にグローバルな資金可視化を実現しており、財務部門は、社内に信頼される正確な予測を作成できます。

財務部門は、無駄な作業に膨大な時間を費やす代わりに高価値な業務に専念し、意思決定を支援できるため、キリバのソリューションは企業にメリットをもたらします。



資金管理と資金繰り予測

キリバの資金管理・資金繰り予測は、1日が始まる前に日次の資金ポジションを自動的に作成し照合します。資金ポジションワークシートをはじめ、直観的で効果的な手法を使って、銀行残高、取引明細、入出金予定を組み合わせ、資金ポジションを可視化できます。これにより、銀行、口座、エンティティ、地域を越えてリアルタイムに最新のインサイトを常に入手できます。

主な特長：

- 資金ポジショニング
- 資金繰り予測、照合
- インハウス・バンキング
- 銀行（キャッシュ）取引の仕訳作成
- 総勘定元帳への転記
- 銀行取引と会計仕訳の照合

ソフトウェア・アズ・ア・サービス (SaaS)：

- 保守料不要
- サブスクリプションベース

セキュリティ：

- SOC 1・SOC 2 準拠
- 冗長性ある災害復旧
- 暗号化、認証、管理
- 監査証跡

レポートニング：

- 多数のカスタマイズ可能なレポート
- 画期的なダッシュボード
- 自動スケジューリング
- PDF、Excel、HTML 形式
- メールでのレポート配信

優れた資金繰り予測分析を使うことで、企業は期間を問わず予測と実績を比較し、予測精度を改善できます

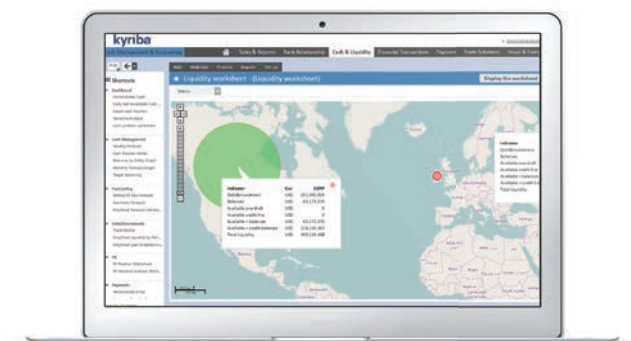
クライアントは、正確な最新の資金ポジションをもとに、キリバの資金繰り予測機能を通じて、繰り返し使用する科目、ERPデータのインポート、キリバの他のモジュールとの統合、過去データの外挿など、複数のデータソースを利用して日次、

週次、月次、年次のグローバルな資金繰り予測を構築し分析できます。優れた資金繰り予測分析を使うことで、企業は、期間を問わず予測と実績を比較し、予測精度を改善できます。



資金管理の主な機能

- ダイナミックレポーティング** — カスタマイズされた資金ポジションワークシートと期毎のビューが、残高の要約と長期的な推移を示します。日次ビューは、1日の資金移動の予測と実績をカテゴリー別に表示します。
- グローバルポジショニング** — 地域別または通貨別の資金ポジションを表示できます。外国通貨は為替レートに基づき表示され、自国通貨でのポジションを見られます。
- 流動性** — 借入・投資モジュールから好きな投資・与信データを統合して、総合的な流動性を分析します。専用の流動性レポートが、データをワークシート形式、グラフィック形式またはインタラクティブなマップ形式で集計します。
- マルチエンティティ** — エンティティ別にポジションを表示したり、全社的な資金ポジションを分析できます（クライアントのニーズに応じてカスタマイズ可能）ドリルダウンにより、要約に加え詳細な補足資料も見られます。
- キリバシステムとのシームレスな統合** — 資金ポジションはリアルタイムに継続的に更新されるため——キリバの他のモジュールによるものも含め——予測が変更されれば、クライアントのワークシートに自動的に反映されます。
- 目標残高** — 資金プーリングにより、目標残高を階層的に設定でき、資金の補充・削減を行うべきか予測できます。支払モジュールと連動して自動的にプーリングを行うこともできます。



インタラクティブなヒートマップレポートが、グローバルな流動性の分布を示します。緑の円の大きさが、キャッシュの量を表します

キリバは、市場をリードするグローバルな資金管理ソリューションとして知られ、直観的で使いやすいソリューションを通じ包括的な機能を提供しています



資金繰り予測の主な機能

- **ERPからのインポート** — 買掛金、売掛金の詳細データや要約データ、他の社内システム。
- **予測の照合** — 高度な分析機能を用いて、口座、金額、日付、参照値などのカスタマイズ可能な基準に基づき、予測と実際の銀行取引を比較します。1対1、1対多、多対多のマッチングを利用できます。予測の推計値と確定値を、実績と比較し、ユーザーが指定した期間について差異を分析します。売掛金残高と現金収入の照合を通じて、運転資本管理をサポートし、売掛金の差異を報告して売掛金回収期間を計算し、資金の予測可能性を高めることもできます。
- **過去データ** — 過去の取引とキャッシュフローの回帰分析、トレンド分析、平均化を用いて、資金繰り予測を作成します。
- **簡単な入力** — 標準的な入力フォームを使用し、予測データを簡単にインプットできます。
- **繰り返し科目** — 循環変動や休業日など、ユーザーが指定した頻度でモデリング機能を使用できます。
- **シームレスな統合** — システム全体が資金繰り予測を自動的に更新するため、リアルタイムでキャッシュフローを把握できます。
- **予測の表示** — 期間、表示科目、事業部門、ユーザーが指定したグループに加え、借入や投資などの追加情報に基づき、予測画面をカスタマイズできます。



インハウス・バンキング

インハウス・バンキング・モジュールにより、親会社と子会社のインターカンパニー取引を追跡しレポートして、資金プーリング、効率的な借入、投資、ヘッジエクスポージャを支援します。このモジュールは、次の機能を提供します。

- **利息計算** — 子会社別に、利子所得や支払利息を計算できます。
- **柔軟な設定** — データ構造が柔軟なため、マルチカレンシープール、規制適用の有無、多層階層型など、企業のニーズに応じて口座、エンティティ、構成、ワークフローをカスタマイズできます。
- **インハウスバンク取引** — ゼロバランス・アカウント科目、スweep取引、支払、財務取引決済など、資金取引は銀行取引から生成されます。現金以外の取引は、ERPからインポートするか、資金繰り予測モジュールまたはネットティングモジュールから作成できます。子会社も直接、取引の入力やインポートを行えます。

- **インハウスバンク口座残高** — インハウスバンク口座残高が自動的に計算されるため、財務部門は、子会社別、通貨ペア別に全ての残高を把握できます。そのため本社は、グループの資金ニーズを日次で決定できるだけでなく、子会社の資金依頼をより細かに管理できます。
- **子会社へのレポート** — 子会社は、様々なレポート機能（取引明細書、キャッシュフロー台帳、資金ポジションワークシート）を使って、社内外の残高、取引・利息明細、社内取引（借入、投資、為替）を随

時照会できます。子会社の利子計算書を、カスタマイズして発行できます。利子計算書が承認されると、引落利息／付与利息の取引が自動的に生成されます。

- **仕訳作成** — 仕訳を完全にサポートしているため、利息計算の仕訳記入を作成できます。加えて、インハウスの現金の移動、現金以外の移動についても仕訳が作成されます。全ての取引は、標準的なGL転記ワークフローの一環として、承認後に総勘定元帳に転記されます。



直観的なダッシュボードが、資金、流動性、運転資本など
主なトレンドの最新のスナップショットを表示します

財務部門は、無駄な作業に膨大な時間を費やす代わりに高価値な業務に専念し、戦略的な意思決定を支援できるため、キリバの資金・流動性管理ソリューションは企業にメリットをもたらします



資金会計

キリバの資金会計は、GL 記帳の自動化、および銀行取引・社内現金取引に基づく多面的な複式記帳により、GL 転記という時間がかかりミスを招くプロセスを不要にします。自動化されたルールを使って取引をスキャンし、適切な GL 科目で仕訳を作成し、予定された時期に自動的に GL に電子的に統合

します。資金会計は、複数の通貨、複数の勘定科目表をサポートすることで、グローバルな組織、複雑な組織、集権的または分権的組織など、性格を問わず、あらゆる種類の企業にメリットをもたらします。



GL 照合

GL 照合は重要なプロセスですが、時間がかかる面倒な作業です。キリバの GL 照合は、銀行取引と仕訳記入の照合を通じてこのプロセスを自動化し、生産性の向上とミスが生じるリスクの軽減を実現します。ユーザーが指定した銀行・帳簿の照合ルールに基づき、キリバが把握する銀行取引と、GL

からインポートした仕訳記入をマッチングします。銀行取引と GL 記帳の一致を示す証拠の作成、照合プロセスと GL 記帳作成の職務分掌など、規制当局へのレポートもサポートしています。